



住吉教会 2016年度テーマ  
「いつくしみ深く 御父のように」  
—いつくしみの特別聖年—

## 神を知ること切に求めましょう (その2)

(ホセア書6章3節)

ジャン・ペンケレシ神父

(9月号より続く)

ここでもう一つの神の言葉を思い出します。(詩編 50 章 7～8 節, 14 節)

わたしの民よ、聞け、わたしはかたる。

イスラエルよ、私はお前を告発する。

わたしは神、お前の神。

捧げ物についてお前を責めはしない。

お前の焼き尽くす捧げ物は

常にわたしの前に置かれている。

告白(感謝)をいけにえとしてささげ

いと高き神に満願の捧げ物をせよ。

イスラエル人は香、麦粉、油、ぶどう酒、羊、牛を神に捧げていましたが、勤めと儀式にとどまって、心から神を愛して礼拝していませんでした。私たちも神にいけにえを捧げています。ミサ参加、祈り、教会での役、慈善の奉仕など。神はそれを知っておられます。

しかしそれ以上に、いや、その前に、”感謝のいけにえ”を求めておられます。神を深く知り、その愛と与えてくださっている全ての良いもの：命を与え、毎日養って生かし、意味のない人生の闇から永遠の命の希望の光に移して、み言葉と聖霊によって毎日導き、強め、その愛で満たしておられること。こうして、神の愛を意識して、体験すれば、初めて心から感謝することができるようになります。神のない、物質的なものが優先する周りの社会の雰囲気に関わられません。

そうすれば、体験している神の愛と約束を、確信をもって家族の人を初めとして、他の人に伝えることができます。私たちは神を知る責任があります。

まず、神の言葉を聖書の中で毎日、数章を通読する必要があります。次に、使徒言行録にあるように(8章17節; 19章6節)、適当な人(神の深い愛を体験した人)によって相手して頂いて、聖霊が心に神の愛を注いでくださるように願います(ローマの信徒への手紙5章5節)。教会かグループで聖書の話と分かち合いに参加することも望ましい。これを最も大切だと信じて、決断すれば、出来ることです。(完)

## 住吉小教区評議会議事録

- 1 日時 2016年9月18日(日) 11:24~14:21、17名
- 2 場所 第2会議室
- 3 次第 始めの祈り  
星の園幼稚園からの連絡、協議事項：10/8星の園幼稚園運動会  
行事予定確認(ミサお知らせをご覧ください)

### 議事① 10月23日(日) 10:00バイリンガルミサ ミラグロス25周年、奇跡の主行列、イベント

\* 9月11日(日)と本日 打ち合わせ

10月から祭壇に聖画を安置する。

☆ミサ次第 ミサ前にミラグロスの意義について、先唱者が読み上げる。

朗読 第一朗読 スペイン語、第二朗読 日本語

福音書朗読、説教 傘木神父、ラモス神父

共同祈願 先唱者(日本語)及びスペイン語3名

聖歌 入祭、奉納、拝領、閉祭 スペイン語

イベント時間は16:30まで。日没17:14までに片付け、撤収。

行列は昨年同様、門の中から園庭周回コースとする(2周)

国際チームコメント：おみこしを南米信徒以外も担ぐことを奨める。

調理はキッチンを使用し、アルコールは無しとする。

- ### 議事② 墓地委員会報告
- |          |                 |
|----------|-----------------|
| 11月3日(木) | 教区納骨堂祈念祭(教区)    |
| 11月6日(日) | 住吉教会死者祈念ミサ      |
|          | 司式 Fr オマリー、共同祈願 |
| 同上       | 神戸地区墓参(鶉越、舞子)   |

### T 副議長・財務チーム長から会計支出関連報告

プレゼピオ(馬小屋)本日到着。聖パウロ三木像、ルルド補修。

空調機器内部洗浄。エレベーター機能維持工事。以上実施。

### 議事③

- 1 住吉教会フェスタ(旧名称 住吉教会バザー)の見直し。  
高齢化でスタッフ減少、一部見直して実施することに決定。  
「縮小しても継続して行きたい」との意見あり。  
日時：11月13日(日) 11:00から14:00  
名称：「住吉教会 FIESTA (フィエスタ)」とする。収益：住吉教会献金
- 2 過密スケジュールにより評議会議長団から実行委員会運営担当は困難。  
「夏のバーベキュー方式」に倣い、皆で担い合う。  
管理担当 議長(全般)、T 副議長(会計)、各コーナー責任者

- 3 **実施は住吉教会建物内で行う。(焼き鳥・酒のみ従来場所)**  
全天候型。チケットは例年通り前売りとし、一部現金売りとする。  
各コーナーで使用する机と椅子は教会建物内の備品を使用し、外から持ち込まず、又、外に備品を出さない。  
各机・椅子の仕分けは11月6日(日)ミサ終了後、  
U議長と各コーナー責任者がセッティングする。  
保健所への食品サンプル届出は例年通り、Kさんに御願い致します。
- 4 **実施の各コーナー(案)と会場(検討中):コーナー責任者打診、ヘルプ募集**  
○第2会議室: 雑貨、手芸、インド雑貨、パウロ書店  
○第1会議室: 飲食スペース(食堂)  
○2階和室: リサイクル衣料  
○キッチン及びキッチン前: カレー、ぜんざい  
○階段横: ペルー料理: チキンライス(アロス・コンポイヨ)、  
ターキー・サンドウィッチ  
○パウロ三木ホール: 飲食席 40席確保。(夏バーベキュー77席確保)  
小聖堂前 喫茶コーナー  
入口正面 巻き寿司・コロッケ  
○園庭教会側: 焼き鳥、ビール・ワイン
- 5 **廃止のコーナー**  
あんかけ焼きそば、おでん
- 6 **10月11日(日)神戸中央教会バザーの住吉コーナー**  
住吉・神戸中央合同中高生会、塩蔵わかめ、マリアコーヒ(K広報部長)
- 7 **10月16日(日)教区国際協力の日ミサ(前田大司教司式)**  
昨年同様、住吉教会から4名が受付・献金・聖体拝領誘導の担当で参加。

議事④幼児洗礼式は10月9日(日)ミサで実施(司式 Fr 傘木)

議事⑤待降節黙想会

日程、テーマ等、再検討必要。

議事⑥クリスマスポスター

広報予算で印刷、配布承認。次回評議会で配布先の確認。

終わりの祈り

☆次回 11月20日(日) 11:00~ 第2会議室

## セニョール・デ・ロス・ミラグロスについて

その起源は350年以上前の出来事に由来します。スペインによる統治時代の1651年、ある敬虔な黒人奴隷が南米ペルーの首都リマのパチャカミリャ地区（当時リマの中でも特に貧しい人々の住む地域だった。）の粗末なレンガの壁に主キリストの磔刑像を描きました。

数年後の1655年11月にリマの街は大地震に襲われ全市はほぼ瓦礫の山と化していましたが、不思議なことにこの絵が描かれた壁は奇跡的に崩れませんでした。

その後1670年にアンドレス・レオンという人が全く見捨てられていたこの壁の周りの塵を払い、花やローソクで飾りつけ、屋根をつけました。彼は数年来悪性腫瘍を患っていましたが、毎日この絵の前にひざまずき、「どうか治りますように」と祈っていました。すると腫瘍は少しずつ消え始め、やがて完治してしまったのです。

その後1687年10月にも大地震が起きましたが、今度もこの壁は無傷のままでした。そのころからこの絵は奇跡のシンボルとされ、「セニョール・デ・ロス・ミラグロス（奇跡の主）」と呼ばれるようになり、聖画像を戴いた御輿を担いで奇跡をたたえる聖行列が行われるようになりました。

この御輿の表側には上述の磔刑のキリスト像、もう一方の側には1696年に北隣の国エクアドルに現れた聖母マリア「ビルヘン・デ・ラス・ヌベス」の絵が描かれています。

聖行列に際し、信徒たちは主キリストのご受難にちなみ、紫色の衣を身に着け白い帯を腰に巻いて参加します。

セニョール・デ・ロス・ミラグロスは今ではリマのみならずペルー全体の国民的行事となっており、ペルー以外でもそこに住むペルー人たちによって行われるようになってきました。住吉教会では1991年から行われるようになり今年**25周年**になります。遠く母国を離れて暮らしているペルーの人たちの最大の宗教行事に私たちも一緒に参加して共に祈りを捧げたいと思います。

今年は10月23日（日）10：00 ミサ  
ミサ終了後 聖行列

聖行列終了後フィエスタを催しますのでペルー料理や音楽、民族舞踊等をお楽しみください。

## 主日のミサで故人のためのミサを依頼なさりたい方へ

主日のミサは教会共同体皆のために捧げられるものなので、本来、ミサの中で司式の神父様は個人のお名前をおっしゃることはありません。先唱者が共同祈願の最後のお祈りにお名前を入れて皆で祈ります。

依頼の方法は、当日ではなく前もって依頼用の封筒に依頼者のお名前と意向を記入して頂きます。依頼があれば典礼チームがその日の神父様と先唱者に連絡します。

## こんな時は

現在病気や高齢のために教会へ行くのが困難な方で聖体、病者の塗油、その他の祈り等を必要とされる方は、ご遠慮なく神戸中央教会（電話番号：078-221-4682）までお申し出ください。

緊急の時も同じようにしてください。コンサルタ神父様、傘木神父様が対応して下さいます。

## 教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は、日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で収入のある方です。不安定な収入、年金生活等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体の運営や様々な活動を支えるため可能な範囲のご協力をお願い致します。神に感謝。 財務チーム

## 感謝献金について

私たちは誕生から始まって受洗、七五三、入園、入学、初聖体、堅信、入試、成人式、就職、結婚など人生の節目で神様からたくさんのお恵みをいただいています。このお恵みに対する感謝の気持ちを献金という形で神様に表すこともできます。あらゆる場で神に感謝をささげましょう。